剣道だより

No.１６５

９，１０月号

三木市剣道連盟
広 報 部

2012(平成24)年
11月10日(日)
発 行

○第32回三木市青少年健全育成大会(1・2面)○三木市中学校新人剣道大会(3面)○第 48 回東播剣道大会兼県高校新人剣道大会(4・5面)○防具担いで交剣知愛(5，6 面)○国際社会人剣道クラブ近畿地区十月例会(6面)○60 周年記念式典等・月々の便り(7・8面)

◎本紙は三木市剣連HP（http://mikikenren2011.web.fc2.com/）でもご覧になれます。PDFでカラー印刷できます。

三木中央復活の優勝

―第32回三木市青少年健全育成剣道大会―

優勝杯を手にする三木中央のメンバー

実りの秋の大会が始まった。その第一弾、「第32回三木市青少年健全育成剣道大会」は、10月6日(日)、三木コミュニティースポーツセンターを会場に、午前9時より始まった。

開会式で挨拶に立った高橋会長は、先の吉川総合公園体育館で行われた「三木市剣道連盟創立60周年記念行事」での全剣連副会長福本修二範士の講演内容に触れ、福本先生が「人が生活環境で必要なものとして、感性・身体・精神の3つの分野に分けてその項目を挙げ、それらは剣道の稽古を通して得られるのだ」と、言われたことを子どもたちにわかりやすい言葉で紹介した。

来賓には松本市教育長も来られ、祝辞を述べられた。

緑が丘チームが優勝
木刀による剣道基本技稽古法の部

試合は先ず、各剣道教室代表2名による「木刀による剣道基本技稽古法の試合」から行われ、当日のくじ引きによる組み合わせで、ふた組ずつが稽古の成果を競った。

8チームのうち緒戦で緑が丘・志染・口吉川・別所が残り、最終的に優勝「緑が丘スポーツ少年団剣道クラブ」(幅美萌梨・森岡祥平組)、準優勝「志染スポーツ少年団剣道部」(照井瑞生・粟田真之助組)、3位、別所少年剣道教室」、「口吉川少年剣道教室」だった。

1級審査に取り入れられるということで、おそらく県下各地でこの「木刀による剣道基本技」の指導が行われているであろうが、我が三木市内剣道教室の水準はかなり高いと自賛される。各教室指導者の自覚ある指導が実を結んでいるのであろう。優勝した緑が丘の二人は、息もぴったり合い、間合いの駆け引き、打ち込みの鋭さ、動作の滑らかさ等、かなりのものだ。指導に当たった緑が丘の先生方のこの技法に対する理解の深さが子どもたちの演じた成果として出た。